

令和2年1月9日

探究学習部

令和元年度「課題研究～互いの研究を深め合う発表会～（1年）」実施要項

- 1 期日 令和2年1月28日（火） 5・6・7限
- 2 目的 1年普通科各班が課題研究の発表を行い、互いの研究を深め合う。
- 3 発表生徒・場所 1年普通科各教室・クラスごとの発表 全67班（1クラス10班程度）
1年理数科は、6人程度に分かれ、7教室に参加・質問を行う。

4 内容・運営・役割

日本語または英語のポスター発表（GLクラスは英語）

発表内容には次の要素を含むこと ポスターの紙面には限りあり 一部は口頭のみでも可

テーマ 研究の目的・動機 先行事例・先行研究など

調査内容（予定も含めて） 結論・提案 今後の課題 参考引用文献

課題研究での学び（発表時間が許せば、口頭で発表。班単位でも個人単位でもOK）

班員全員のリレー形式で発表する。

司会・運営係 各クラス2名選出

- ・司会進行とタイムキーパー（1分前・制限時間 に手を上げて合図）
- ・各班代表者のスマホで各班の写真撮影（ポスターのみ ポスターと班員 の2枚）
- ・司会2名は多忙につき、評価の任務は免除。
- ・GLクラスは英語で進行
- ・ゲストの理数科生徒に質問を促す。

発表時間（6分以内）・質疑応答（6分以内）が目安。 クラスで調整可

- ・発表順を事前に決定
- ・班単位15分×10班＝150分 で想定
- ・GLクラスには、ALT1名と千葉大学留学生2名が参加します。自己紹介時間15分あり。
必ず英語の質問・助言があります。クラス内の質問時間はとれないかもしれません。

質問 『質問することの当たり前化』のため、工夫をお願いします。1年生は義務化もあり。

記録 発表後、ポスターをスマホで撮影・共有すること。

- ・各自のポートフォリオ・大学提出用データとして
- ・後日、G Suite の classroom 経由で提出（後日、別紙で案内）

評価・コメントシート記入（2分目安） 担任回収

- ・担任と副担任は生徒の評価シートを参考に、 のクラス代表を選出
- ・確認後、評価シートは各班にフィードバック。

各クラス代表 3班選出

- ・ 1班は、千葉県課題研究発表会（3/20 祝日・午後）・千葉工大へ参加
（全班、日本語ポスター発表になります）
班員中、最低2名参加でOK 千葉工大（津田沼）までの交通費は自己負担
ポスターはWordで作成し、プリントアウトします。
SSH・SGH合同発表会（3/19 午後の部）でも発表
- ・ 2班は、本校のSSH・SGH合同発表会（3/19 午前の部）へ参加
（体育館でのポスター発表 50分間）

5 日程（GLクラスのイメージ）

- 12:00～13:10 ALT・留学生到着、昼食（資料室）打合せ（応接室）
13:10 移動（FG国際交流委員が案内係 13:05 応接室必着）
13:15～13:30 ALT・留学生自己紹介
13:30～16:05 発表 *適宜、休憩を入れてください。

A～E組は、13:20頃、発表を始めてください。

理数科は、13:10 イスを持って参観クラスへ移動を開始してください。

FG国際交流委員は、終了後、留学生を応接へ案内

6 クラス準備

- ・ 教室机イス配置レイアウト グループごとにまとまる。
- ・ GLクラスは助言者用イス用意（3）
- ・ 全クラス、理数科生徒6名分のスペース用意
- ・ ポスター掲示用の磁石用意（SGH係より配付）
- ・ 評価・コメントシート配付

翌週2/4（火）6・7限 学年交流発表会

- ・ 移動先 会場は別紙（A～G 多目的 ・ LL教室 10会場使用）
- ・ 発表スタイルは1/28同様 発表時間（6分）・質疑応答（3分）・評価（2分）
- ・ 12分×最大7班 2限以内で終了させる。
- ・ 司会運営は教員が行う。 点呼・発表順の決定・タイムキーパーも教員が指示。
- ・ 評価表はその場で書き、その場で発表班に渡す。
- ・ できるだけ担任は自由に移動してもらい多くの発表を見学する。